

道路空間を活用した EV路上カーシェアリング社会実験 第4回協議会

社会実験内容

令和7年6月

近畿地方整備局 大阪国道事務所

1. 社会実験の背景

- 社会実験において、EV路上カーシェアリング社会実験により社会受容性等を把握し、今後の水平展開により、環境負荷軽減を目指す

【社会実験目標】: 路上におけるEVカーシェアリングの社会受容性やカーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性把握

■社会実験での取組概要(案)

- ・民間事業者を公募し、EV車でのカーシェアリングを実施



▲路上カーシェアリングステーションの整備事例 (東京都港区新橋)

×



▲EV充電機器の整備事例 (横浜市青葉区)

- ・2050年カーボンニュートラルの実現を目指した「道路におけるカーボンニュートラル推進戦略」にあった取組を推進

①道路交通の適正化

②低炭素な人流・物流の転換

⇒新たなモビリティ・公共交通等、低炭素な交通手段の利用促進

③道路交通のグリーン化

⇒次世代自動車の普及
⇒道路空間における発電・送電・給電・蓄電の取組

④道路のライフサイクル全体の低炭素化

▲道路分野のカーボンニュートラル推進戦略の4つの柱

(出典)道路におけるカーボンニュートラル推進戦略 中間とりまとめ(国土交通省 R5.9)

■検証イメージ

- ・EV路上カーシェアリングの社会受容性: カーシェアリング利用者数、歩行者や自動車交通への影響評価 等
- ・カーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性: 今後の利用意向、他交通モードでのアクセス性評価 等

社会実験の狙い

- ・路上でのEVカーシェアリング導入による環境負荷軽減(カーボンニュートラル)
- ・交通利便性向上の強化 ⇒ 利用者が交通を選択しやすい環境構築

京阪神都市圏での水平展開を目指す

2. 社会実験の目的・概要

目的

道路分野におけるカーボンニュートラルの取組みとして、JR大阪駅など鉄道駅周辺の国道1、2号の路上にEVカーシェアリングステーションを設置し、鉄道とEVカーシェアリングの組み合わせによるCO2排出の削減や、交通利便性向上、災害時の有効活用等の検証を行います。

実験概要

○実験期間: 令和6年10月1日(火)10時～令和7年12月末(予定)

※実験期間は、延長する場合がある。

○実験箇所: 大阪府大阪市北区梅田・東天満・福島区福島

国道1、2号の道路上5箇所

○運営車両: 日産サクラ(EV車)

○運営方式: ラウンドトリップ方式※¹

○運営時間: 0:00～24:00(24時間)

○実験主体: 道路空間を活用したEV路上カーシェアリング
社会実験協議会

国交省、大阪府警察本部、大阪市、実験参加者、
梅田2丁目振興町会、西阪神桜橋商店会、
福島連合町会、東天満1・2丁目振興町会

○実験参加者: タイムズモビリティ株式会社

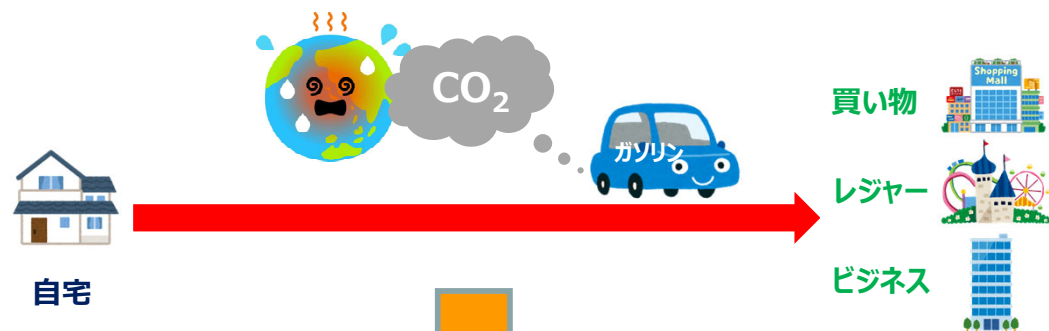
○カーシェアリング利用方法: タイムズモビリティ株式会社が運用する
「タイムズカー※²」にて予約し、利用。

※¹車を借りた場所と返す場所が同じ方式

※²利用にあたっては、タイムズカーの会員登録が必要になります。 <https://share.timescar.jp/>

レール×EV路上カーシェアリング

従来



CO2排出量の削減

EV路上カーシェアリング

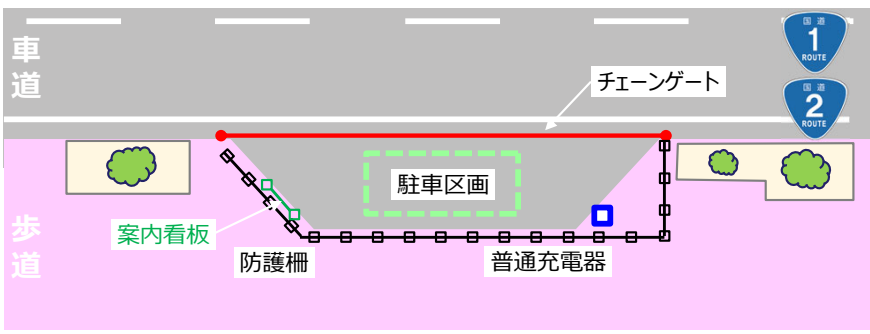


3. 社会実験 実験箇所

位置図

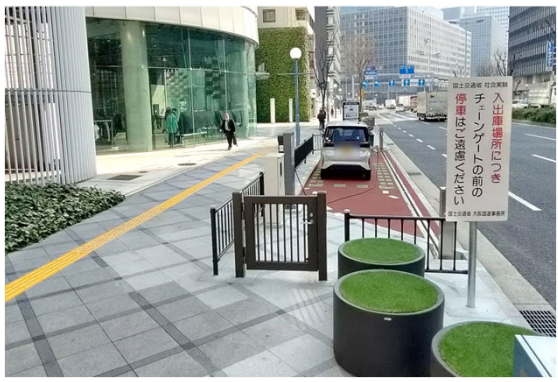


配置イメージ



現況写真(R7.3.26時点)

箇所①



箇所③



箇所⑤



箇所②



箇所④



社会実験案内看板



4. EV路上カーシェアリング利用方法 概要

利用手順

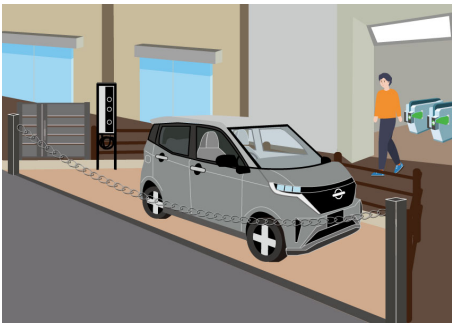
①利用予約



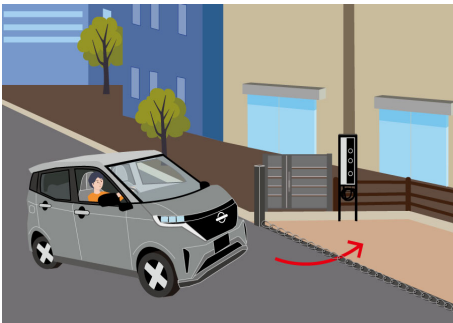
④目的地到着



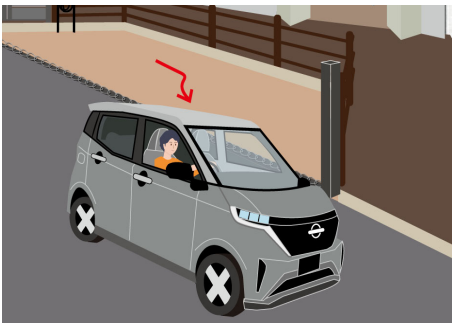
②駅近くで乗換



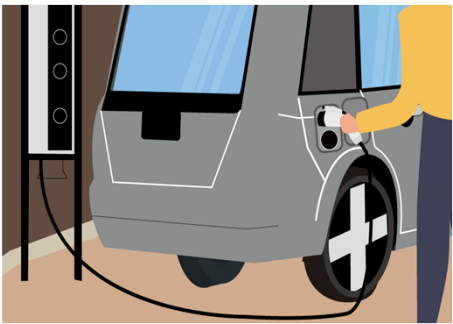
⑤カーステーション帰着



③カーシェアで移動



⑥充電・返却



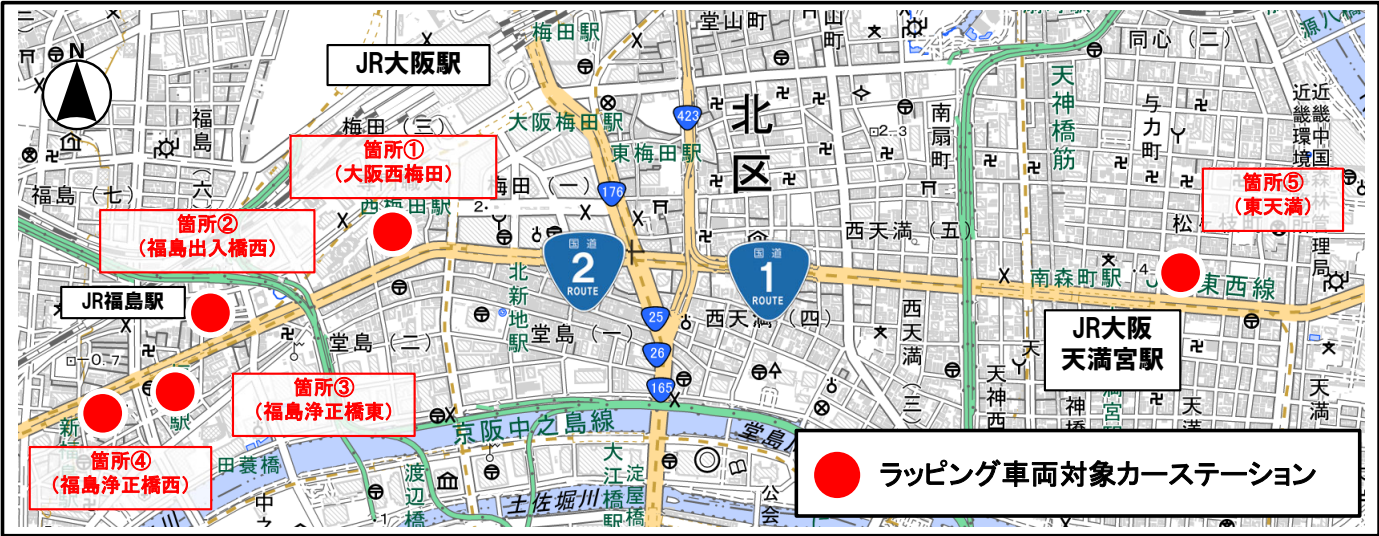
EV路上カーシェアリングを活用した移動イメージ



5. EV路上カーシェアリング社会実験での利用促進PR

- EV路上カーシェアリング社会実験において、利用者の促進を図ることや「大阪・関西万博」万博のPRや機運醸成を目的として、社会実験で使用しているEV車両(全5台)にミyakumiyakuのデザインをラッピング。
- ラッピングは、令和6年12月16日より実施しており、令和7年12月末までの実施を予定しております。

ラッピング対象車両配置箇所



ラッピングレイアウト

国土交通省
近畿地方整備局は、
電気自動車での
EV路上カーシェアリングの
社会実験を行っています。



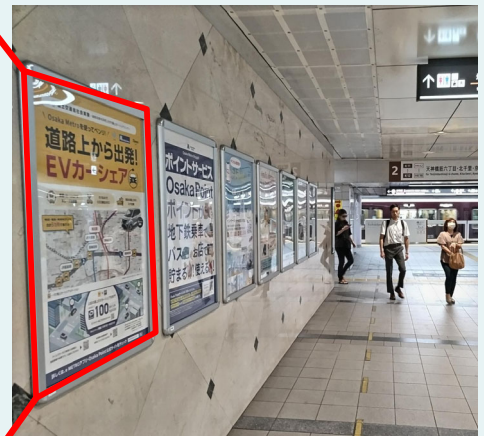
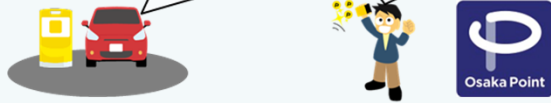
国土交通省
近畿地方整備局
大阪・関西万博公式キャラクター ミyakumiyaku
©Expo 2025

ラッピング車両状況



6. 実験参加者での利用促進取組について

➤ 実験参加者のタイムズモビリティ(株)が、鉄道事業者と連携し、社会実験の利用を促進

時期	内容	
R6.10.1 ～ R6.10.31	EV路上カーシェアリングの告知活動 (Osaka Metroの全駅・電車内でポスター掲載)	
①R6.10.1 ～ R6.10.31 ②R7.4.1 ～ R7.12末 (社会実験 終了まで)	EV路上カーシェアリングを利用した会員に 鉄道事業者でのポイント等の特典を付与 ①Osaka Metro 取組に事前登録し、EV路上カーシェア利用でOsaka Point (100ポイント)を付与 ②JR西日本 JR西日本とEV路上カーシェアの同日利用でWESTER ポイント(100ポイント)を付与	 ポスター  駅舎内のポスター掲示状況 (南森町駅)
		①Osaka Metro Osaka Point ①事前に 取組に事前登録 ②EV路上カーシェアを利用 ③Osaka Point 付与！  ②JR西日本 WESTERポイント ①事前に TimesCARマイページへ WESTER IDを登録 ②ICOCAでJR西日本路線に乗車 ③同日に EV路上カーシェアを利用 ④WESTERポイント 付与！ 